

# SkyVisualEditor V3.1.0.0 の機能追加・改善内容

リリース日: 2013/3/3

## 1 新機能追加

### 1.1 画面単位に選択リストを自由に作成 [AppComponent]

画面単位にオブジェクト項目の選択リスト値を自由に作成できるようになりました。Salesforce のオブジェクト項目設定の場合は、全ての画面で共通の選択リスト値となりますが、SkyVisualEditor Studio で設定するため画面単位に選択肢を設定可能となります。

画面に配置済みの選択リスト項目、またはテキスト項目に対して、選択リストを設定することができます。

尚、当機能は AppComponent で提供されるため、AppComponent パッケージのインストールが必要となります。

### 1.2 入力可能な選択リスト項目の配置 [AppComponent]

値の入力時、選択リストから値を選択、または自由な文字列を入力できる項目を配置できるようになりました。

定義済みの選択リスト項目を入力可能項目に設定することができます。また、1.1 機能でテキスト項目に選択リストを設定することにより、入力可能な選択リストとして利用することもできます。

Salesforce の標準項目では定義した選択肢から選択可能な「選択リスト」項目や、自由な文字列を入力可能な「テキスト」項目が存在するが、選択肢が存在しつつ自由な文字列を入力できる項目が現在存在していませんでした。

尚、当機能は AppComponent で提供されるため、AppComponent パッケージのインストールが必要となります。

### 1.3 削除処理後の遷移先を指定

「削除」ボタン押下後は該当オブジェクトのトップ画面に遷移する仕様でした。

今回、「保存」ボタン押下後の処理と同様に、削除処理後の遷移先画面を指定できるようになりました。

## 2 機能改善

### 2.1 背景画像に高解像度の画像が配置可能に

今までは画像を背景画像に設定すると、画像そのままの大きさに画面に表示されるため、画面に合わせて画像サイズを調整する必要がありました。また画像サイズを調整するため、元の画像が高解像度の場合、画像サイズを調整すると画質が悪くなり、ぼやけて見えてしまうということがありました。

今回の機能改善で、背景画像に設置した画像のサイズを変更することができるため、高解像度の画像でも縮小して配置することが可能となりました。

また背景画像の配置位置を変更できるようになりましたので、画像の位置を変更したい場合に画像自体を修正する必要がなくなりました。

### 2.2 PDF ページサイズに A3、B4 追加

PDF 化する際のページサイズに A3 サイズ、B4 サイズを追加しました。

### 2.3 ルックアップ入力項目を読み取り専用項目に

SkyVisualEditor Studio で設定することができる、マスターオブジェクトからデータを自動的に取得可能な「ルックアップ」対象項目を読み取り専用項目に設定できるようになりました。

「ルックアップ」対象項目は、ルックアップウィンドウから値を取得することができますが、値を直接入力することも可能でした。マスターデータからデータを自動的に取得するタイミングが使用するお客様に分かりにくいということがあり、直接入力できないように読み取り専用にすることができるように機能改善しました。

## 3 その他

### 3.1 ドメインの変更

グローバル展開のため、日米のドメインを統一することになりました。

また、当バージョンから SkyVisualEditor へのドメイン(接続 URL)が変更となります。

現在の URL: <https://www.skyeditor.net/>

新しい URL: <https://www.skyvisualeditor.com/>

設定変更が必要な方はご対応よろしく申し上げます。

以上